

資料 2

事業名	地域包括支援センターによる支援		結果	◎
現状と課題 具体的な取組	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として包括的支援事業等を実施し、平成 27 年度から地域ケア会議の充実、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備が新たに位置づけられ、地域包括支援センターの機能強化が求められています。 地域包括支援センターと関係機関との連携体制の構築を推進し、地域包括支援センターの体制強化を図るとともに、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を安心して送ることができるように包括的支援事業を推進します。			
事業内容 取組実績	1 地域包括支援センターによる支援			
	(1) 介護予防ケアマネジメント			
	要支援 1・2、事業対象者、虚弱高齢者を早期に発見し、個々の高齢者が自立した日常生活を目指して適切な介護予防サービス等が提供されるよう、生活に応じた包括的かつ継続したマネジメントを行った。			
	● ケアプラン作成件数（要支援 1・2、介護予防・生活支援サービス事業対象者）			
		H29 年度	H30 年度	R 元年度
	包括支援センター作成	5,908 件	5,994 件	6,228 件
	委託作成	120 件	204 件	406 件
	合計	6,028 件	6,198 件	6,634 件
	● ケアプラン作成内訳（要支援 1・2、介護予防・生活支援サービス事業対象者）			
		H29 年度	H30 年度	R 元年度
介護予防サービス計画 （要支援 1.2）	2,453 件	2,724 件	3,238 件	
介護予防ケアマネジメント （介護予防・生活支援サービス事業対象者）	3,575 件	3,474 件	3,396 件	
合計	6,028 件	6,198 件	6,634 件	
(2) 総合相談・支援				
介護保険サービス、保健・医療・福祉サービス、関係機関等制度の利用につなげるなどの総合的な支援を行った。				
		H30 年度	R 元年度	R2 年度
相談件数	計画	1,600件	1,600件	1,600件
	実績	1,755件	1,822 件	1,600 件
(3) 権利擁護				
市民や地域関係者からの相談に対して個々のケースに合わせた情報提供を行うとともに、市長申し立て、親族等申し立て費用助成、後見人等報酬の扶助等の支援、				

市民、関係機関への研修会を行った。

また、社会福祉協議会に成年後見制度の普及啓発、相談支援、市民後見人のフォローアップを委託し、連携を取りながら、権利擁護事業を行った。

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
市民対象研修会	計画	1 回 (38人)	1 回 (38人)	1 回 (38人)
	実績	1 回 (50人)	1 回 (60 人)	0 回 (0人)

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

事業所ネットワーク会議や研修会などを通じ、介護支援専門員、地域の関係機関等の連携、在宅と施設の連携等多職種の連携支援を行うとともに、個々の介護支援専門員に対する個別相談、困難事例への助言を実施した。

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
事業所ネットワーク会議 開催回数	計画	6回	6回	6回
	実績	6回	5回	5回
事業所ネットワーク会議 研修開催回数	計画	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	0 回

(5) 地域ケア会議の推進

個別の事例検討から個別課題の解決、ネットワーク構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発を行った。

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
個別会議開催回数	計画	12回	12回	12回
	実績	12回	11 回	12 回
推進会議開催回数	計画	2回	2回	2回
	実績	2 回	2回	2 回

※地域ケア推進会議はH30 年度から実施

2 在宅医療・介護連携の推進

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ・高齢者お助けかわら版の周知
- ・ホームページに掲載し、随時更新

(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

在宅医療介護連携推進会議の開催（年 3 回）事例検討と課題抽出を行い対応する。

(3) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ・連携室を通じての退院調整会議・入院などの相談
- ・在宅医療提供体制強化事業（医師会で実施）代診制、急変時の受け入れ、カンファレンス・学習会

(4) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ・そらねっと（中空知6公立病院医療連携ネットワーク）
- ・入退院時情報提供書を作成し使用していたが平成30年度からは運営基準の改正により国の書式を使用

(5) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ・地域包括支援センター（介護）、滝川市立病院地域医療室（医療）、保健センター（歯科）

(6) 医療・介護の研修

- ・介護コミュ主催「地域の住民活動と医療・介護の連携づくり」
- ・市主催「リハ職ネットワーク会議情報交換会」
- ・市主催「リハ職ネットワーク研修会」
- ・保健所主催「地域看取り研修会」
- ・医師会主催「在宅医療カンファレンス」
中空知地域医療連携ネットワーク・そら - ねっとがスタートして
医療・介護を結ぶスワンネットについて
- ・介護コミュ主催「滝川市の北海道胆振東部地震における対応」
- ・医師会主催「在宅医療カンファレンス」
- ・糖尿病、認知症に皮膚転移、ストーマケアなども伴う胆癌患者の在宅看取り
みとりの作法
- ・事業連主催「薬のこと、保険調剤薬局とのつきあい方」～薬の基礎知識から事
業所連携まで～
- ・市主催「在宅医療・介護連携推進研修会」
入院から退院までの関り方の詳細や病棟とのスムーズな連携について
- ・市主催「リハ職ネットワーク会議情報交換会」
- ・事業連主催「医療知識と緊急時について」～高齢者介護にあたっての医療知識と緊
急時の対応～
- ・市主催「リハ職ネットワーク研修会」自立支援のための住環境のとりえ方
- ・保健所主催「地域看取り研修会」
- ・医師会主催「在宅医療カンファレンス」
術後脊髄障害の在宅ケアの事例、在宅での尿道カテーテル管理
- ・医師会主催「公開オープンカンファレンス」
高齢者の骨折
- ・市主催「在宅医療・介護連携推進研修会」介護職が知っておきたい外来化学療法
- ・医師会主催「在宅医療カンファレンス」在宅か緩和病棟入院かで揺れる進行胆管癌
の事例
在宅での腹水などの緩和治療

(7) 地域住民への普及啓発

- ・おくすり相談袋を利用した残薬調整活動
- ・終末期を考える「いきいきと生きて逝くために」普及啓発
- ・薬剤師会「介護や救急要請が必要になった時のために」
- ・広報特集号「考えたことはありますか 最期を迎えたい場所」掲載

	(8) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 ・中空知保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療領域検討会議の実施 ・保健所管内での現状報告会
課題と対応策	1 地域包括支援センターによる支援 (1) 介護予防ケアマネジメント (P43) ケアプラン作成数の増加が見込まれ、安定した介護支援専門員の確保が必要である。ケアプランの充実を図るため、自立支援型サポート会議を活用しながら、要支援者の自立支援に向けたケアマネジメントが実施できるようにする。 (2) 総合相談・支援 (P44) 認知症高齢者や家族と疎遠な高齢者の増加により、対応に時間のかかる事例が増えている。困難な相談にも対応できるような職員体制をはかる。 (3) 権利擁護 (P45) 社会福祉協議会の「生活あんしんサポートセンター」とともに、成年後見支援事業に関する普及啓発、相談体制の強化に努める。 (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 (P46) 今後も、情報交換や研修を通じて、資質の向上と関係者間の連携を強化を図る。困難事例を抱える介護支援専門員のサポートを行う。 (5) 地域ケア会議の推進 (P46) 地域の困難事例の検討を行う「個別会議」により、住み慣れた地域で安心して生活を持続けられるよう、課題の解決に努める。 要支援1・2のサービス利用者対象に行う「自立支援型サポート会議」により、地域資源を活用しながら、自立へ向けた働きかけができるようなスキルの向上を図る。 2 在宅医療・介護連携の推進 (P47～49) (1) 地域の医療・介護の資源の把握 新規事業所の情報を迅速に収集し、対応する。 (2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 抽出された課題の対応について、検討し、実施する体制構築が必要。 (3) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 入退院時における連絡・調整がさらにスムーズに行えるような連携体制の構築。 (4) 医療・介護関係者の情報共有の支援 市外の医療機関との情報共有ツールについて検討が必要。 (5) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 医療関係者と介護関係者の相互理解を深めさらなる連携を図ることができるよう、研修会等が必要

	(6) 医療・介護の研修 新規参加者の増加のための周知徹底や、より一層の充実のために希望される研修会等の開催が必要。 (7) 地域住民への普及啓発 終末期ケアや在宅での看取りに関する情報提供について周知徹底が必要。 (8) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 広域的な取組を要する課題やニーズについて、整理の上で検討を要する。様々な取り組みを実施しているが在宅医療・介護連携のための体制の充実を図るため、滝川市医師会をはじめとする関係団体等の協力を得て、課題に対応した研修会や事業展開を図ること、また第7期では薬剤師会協力の「おくすり相談袋」、歯科医師会協力の「口腔アセスメントシート」を導入済み、第8期でも関係機関と事業の充実を図る事が重要。
--	---

事業名	認知症施策の推進	結果	○																																														
現状と課題 具体的な取組	滝川市の 75 歳以上高齢者は 2025 年度まで増加すると見込まれており、後期高齢者の急速な増加は、認知症高齢者の増加と深く結びついています。認知症高齢者を判定する「認知症高齢者日常生活自立度判定基準」において、認知症自立度Ⅱ以上の方が 2017 年 4 月 1 日で 1,637 人となっており、2025 年度には 2,043 人に到達すると見込まれます。 認知症になっても安心して暮らせる地域社会を作り出していく必要があります。認知症予防のため普及啓発や予防講座を実施します。また、認知症の早期発見と対応のため、認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進を図り、認知症地域支援推進員を中心に物忘れ相談の実施、認知症サポーターの養成・育成をします。さらに認知症になっても地域で安心して暮らせるよう認知症ケアパスの普及、SOS ネットワーク事業、認知所カフェの運営支援等行います。																																																
事業内容 取組実績	(1) 認知症予防 ① 認知症予防の普及啓発事業（認知症予防講座） 認知機能低下予防の考え方や日常生活で取り組みやすい効果的な対策など認知症に関する知識の普及啓発を行うため出前講座や講演会等実施した。 <table><tr><td colspan="2"></td><td>H30 年度</td><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td></tr><tr><td rowspan="2">開催回数</td><td>計画</td><td>25回</td><td>25回</td><td>25回</td></tr><tr><td>実績</td><td>18回</td><td>16 回</td><td>0回</td></tr><tr><td rowspan="2">参加者数</td><td>計画</td><td>375人</td><td>375人</td><td>375人</td></tr><tr><td>実績</td><td>265人</td><td>258 人</td><td>0人</td></tr></table> ② 認知症予防事業 認知症についての講話と脳活性化体操を老人クラブの例会で行った。 認知症サポーター養成講座受講後の有志「オレンジ倶楽部」メンバーが運動実技指導に参加した。 (2) 認知症の早期発見と対応 ① 認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進 認知症のファーストタッチにおいて専門医等との連携による集中的な支援を行い、認知症状の安定、家族などの負担軽減に努めた。 (認知症初期集中支援チーム会議) <table><tr><td colspan="2"></td><td>H30年度</td><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td></tr><tr><td rowspan="2">開催回数</td><td>計画</td><td>12回</td><td>12回</td><td>12回</td></tr><tr><td>実績</td><td>12回</td><td>11 回</td><td>10 回</td></tr><tr><td rowspan="2">検討事例数</td><td>計画</td><td>12例</td><td>12例</td><td>12例</td></tr><tr><td>実績</td><td>13例</td><td>11 例</td><td>10 例</td></tr></table>					H30 年度	R 元年度	R2 年度	開催回数	計画	25回	25回	25回	実績	18回	16 回	0回	参加者数	計画	375人	375人	375人	実績	265人	258 人	0人			H30年度	R 元年度	R2 年度	開催回数	計画	12回	12回	12回	実績	12回	11 回	10 回	検討事例数	計画	12例	12例	12例	実績	13例	11 例	10 例
		H30 年度	R 元年度	R2 年度																																													
開催回数	計画	25回	25回	25回																																													
	実績	18回	16 回	0回																																													
参加者数	計画	375人	375人	375人																																													
	実績	265人	258 人	0人																																													
		H30年度	R 元年度	R2 年度																																													
開催回数	計画	12回	12回	12回																																													
	実績	12回	11 回	10 回																																													
検討事例数	計画	12例	12例	12例																																													
	実績	13例	11 例	10 例																																													

② 認知症地域支援推進員の活動の推進

認知症の方がその状態に応じて必要な医療や介護などのサービスを受けられるよう各サービスの連携支援を行い、認知症支援体制を考察した。

③ 物忘れ相談の推進

人の集まる様々な場で「物忘れ相談プログラム」(MSP)を実施し、早期発見・早期対応に努め、より詳細なプログラム(T-DAS)は個別相談で活用した。
(物忘れ相談プログラムを活用した物忘れチェック)

		H30年度		R元年度		R2年度	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
老人クラブ	計画	20回	240人	3回	36人	3回	36人
	実績	0回	0人	15回	185人	0回	0人
地域体操教室 ・町内会	計画	5回	60人	5回	60人	5回	60人
	実績	1回	11人	0回	0人	0回	0人
認知症カフェ	計画	6回	30人	6回	30人	6回	30人
	実績	1回	5人	2回	2人	0回	0人
その他	計画	3回	84人	3回	84人	3回	84人
	実績	6回	115人	1回	41人	10回	50人
合 計	計画	34回	414人	17回	210人	17回	210人
	実績	8回	131人	18回	228人	10回	50人

(T-DASを活用した個別相談)

		H30年度	R元年度	R2年度
開催回数	計画	17回	19回	21回
	実績	20回	26回	50回
検討事例数	計画	35人	39人	43人
	実績	35人	74人	50人

(3) 認知症になっても地域で安心して暮らせる取組

① 認知症ケアパスの普及

認知症ガイドブック(認知症ケアパス)を作成し、各種相談窓口や関係機関に配布し、情報共有に努めた。

② 認知症サポーター養成講座

認知症に関する理解を深められるよう、各地域、企業、学校等で講座を実施した。

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
開催回数	計画	35回	20回	20回
	実績	28回	11 回	5 回
養成人数	計画	450人	300人	300人
	実績	527人	352 人	50 人
認知症サポーター総数	計画	2,981人	3,281人	3,581人
	実績	3,237人	3,589 人	3,639 人

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
オレンジ倶楽部登録者数	計画	40人	45人	50人
	実績	32人	86 人	91 人

③ 徘徊（はいかい）高齢者等 SOS ネットワーク事業

SOSネットワークのPRに努め、介護サービス事業所等と連携し、早期登録を促進した。

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
登録者数	計画	128人	140人	152人
	実績	146人	109 人	120 人

④ 認知症カフェ支援事業

認知症の方も楽しみながら参加できる認知症カフェの運営を支援した。

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
会場数	計画	6か所	6か所	6か所
	実績	5か所	5か所	4 か所
開催回数	計画	72回	72回	72回
	実績	57回	50 回	30 回
延参加者数	計画	3,290人	3,606人	3,606人
	実績	2,511人	2,096 人	1,000 人

3 認知症施策の推進

(1) 認知症予防

① 認知症予防の普及啓発事業（認知症予防講座）

参加者は増加しているものの、一部の方に限られている。より一層の普及啓発を図りたい。

課題と対応策

② 認知症予防事業

取り組みを継続しながら、早期発見・早期治療につながるような働きかけと、老人クラブの講座や地域体操教室の茶話会等の機会も活用して、早期発見・早期治療の重要性について一層のPRを図る。

(2) 認知症の早期発見と対応**① 認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進**

重度化しない初期段階での発見は困難なため、同チームでの検討事例などについてPRを行い、さらなる早期発見の推進に努める。

② 認知症地域支援推進員の活動の推進

若年性認知症の支援についてもノウハウを蓄積し、取組の検討を行う。

③ 物忘れ相談の推進

認知症は、早期発見・早期治療が重要なため、自覚症状の有無にかかわらず、集客多数の事業と組み合わせで一人でも多くチェックするような取り組みに努める。

(3) 認知症になっても地域で安心して暮らせる取組**① 認知症ケアパスの普及**

認知症の本人、家族にさらに利用いただけるよう一層PRに努めたい。

② 認知症サポーター養成講座

総人口に占める割合の向上、若い世代への講座開催、一度受講した方を対象としたステップアップ研修等、検討の上、実施する。

③ 徘徊（はいかい）高齢者等 SOS ネットワーク事業

ケアマネジャーや事業所等と連携の上、今後、さらに登録者数の増加に努めたい。

④ 認知症カフェ支援事業

認知症地域支援推進員を中心として、認知症カフェの運営支援や相談対応に努めるほか、先進事例の情報収集・情報提供を行い、さらなる運営の充実に努める。認知症予防は、普及啓発や予防講座の実施とともに、認知症の早期発見と認知症になっても安心して暮らせる地域社会を作り出していく必要があるため、各種事業の継続した周知活動、関係機関等へ出前講座・相談を幅広く実施していきたい。

事業名	地域における支え合いの推進	結果	△														
現状と課題 具体的な取組	高齢者単身世帯や高齢者夫婦世帯の増加、認知症高齢者の増加など、今後ますます様々な支援を必要とする高齢者が増加することを踏まえ、多様な主体による外出や家事、見守りや安否確認などの介護予防・生活支援サービスを提供していくことが求められています。 地域住民や社会福祉協議会、ボランティア、NPO 法人、民間企業、介護サービス事業者などの参画のもと、「協議体」を組織して、介護予防・生活支援サービスの創出・充実に取り組むとともに、支援を必要とする高齢者のニーズと地域資源との効果的な組み合わせや、元気な高齢者等にサービスの担い手として活躍していただく場の設定などを行う「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置し、介護予防・生活支援サービスの提供体制の整備を推進します。																
事業内容 取組実績	（１）生活支援体制整備事業 滝川支え合い会議（１ 層協議体）の開催、生活支援コーディネーターを中心に研修、実態把握、情報共有・交換、コーディネートを行い、支え合いの体制づくりを考えた。第２層協議体（各小学校区）は２か所（東滝川・第二小学校区）で開催。「支え合い通信」発行、ホームページを利用した情報発信を行った。 （２）ボランティア活動の支援・推進体制の整備 滝川市社会福祉協議会との連携の上、生活支援や介護予防の担い手となるボランティアの確保に向けて、普及啓発等に努めた。 支えあい・いきいきポイント事業により、滝川市ボランティアセンターとの連携を図り、ボランティア活動の推進を実施した。 （３）地域見守り活動の推進 ① 滝川市高齢者・障がい者虐待防止ネットワークの充実 緩やかな見守りから早期に発見し、対応できている。虐待相談件数は横ばいである。研修会等で周知徹底を図る。 ② 高齢者見守り安心ネットワーク 関係機関等からの緩やかな見守りから、適切なサービスにつなげることができている。 （高齢者見守り安心ネットワーク） <table><tr><td colspan="2"></td><td>H30 年度</td><td>R 元年度</td><td>R2 年度</td></tr><tr><td rowspan="2">ネットワーク 協力団体等数</td><td>計画</td><td>107団体</td><td>110団体</td><td>114団体</td></tr><tr><td>実績</td><td>108団体</td><td>118 団体</td><td>121 団体</td></tr></table>					H30 年度	R 元年度	R2 年度	ネットワーク 協力団体等数	計画	107団体	110団体	114団体	実績	108団体	118 団体	121 団体
		H30 年度	R 元年度	R2 年度													
ネットワーク 協力団体等数	計画	107団体	110団体	114団体													
	実績	108団体	118 団体	121 団体													

③ 高齢者見守り支援センター事業

(電話による安否確認)

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
延利用者数	計画	110人	112人	112人
	実績	94 人	※事業廃止	※事業廃止
延実施回数	計画	2,400回	2,600回	2,600回
	実績	1,996 回	※事業廃止	※事業廃止

(通信端末機器による安否確認)

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
延利用者数	計画	36人	48人	48人
	実績	24 人	※事業廃止	※事業廃止
延実施回数	計画	1,825回	2,555回	2,555回
	実績	1,089 回	※事業廃止	※事業廃止

④ 地域福祉活動推進支援事業

(地域福祉活動推進支援事業による助成(滝川市社会福祉協議会事業))

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
助成件数	計画	1件	1件	1件
	実績	0 件	0 件	1 件
助成金額	計画	100,000円	100,000円	100,000円
	実績	0 円	0 円	100,000 円

⑤ ふれあい電話(滝川市社会福祉協議会事業)

		H30 年度	R 元年度	R2 年度
利用実人数	計画	475人	485人	500 人
	実績	464 人	258 人	500 人

課題と対応策

(1) 生活支援体制整備事業(P55)

コロナ禍の中で、高齢者が接触を減らしながら、支え合いについて考え、交流を図るためにはどのような事業が有効なのか検討しなければならない。これまで考えてきた、「普段のつながりから減災へ」の研修会を通じた、生活支援体制整備事業はグループワークから規範的統合が図られた経過がある。普段のつながりを再構築できるよう、感染防止に配慮した形で「通いの場」と「生活支援」を考えていく。

(2) ボランティア活動の支援・推進体制の整備(P55)

今後予想される高齢化の進展と介護人材不足の深化に備え、より一層のボランティア活動の推進を要する。

(3) 地域見守り活動の推進 (P56)

① 滝川市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク

高齢者等の虐待に対して、迅速かつ適正な解決を図るとともに、虐待が発生しない地域づくりを推進するため、課題の情報交換・研修会等実施する。

② 高齢者見守り安心ネットワーク (P57)

ネットワーク協力団体等数の拡大を図り、ネットワークを充実させ、見守り意識の向上、通報の徹底に取り組む。

③ 高齢者見守り支援センター事業 (P58)

事業廃止により他事業にて高齢者の見守りを継続。

④ 地域福祉活動推進支援事業 (P58)

支援が必要な高齢者等を地域ぐるみで支えるため、事業内容の検討を行い、町内会、民間団体などを通じて積極的な PR が必要。

⑤ ふれあい電話 (滝川市社会福祉協議会事業) (P59)

高齢者に役立つ情報や各種サービスの紹介はもとより、振り込め詐欺や悪徳商法等の情報もいち早く提供できるよう滝川市社会福祉協議会との連携を強化。

事業名	高齢者の住まいの確保	結果	○																																		
現状と課題 具体的な取組	公営住宅については、老朽化した団地の建替整備を推進し、平成8年度以降に管理開始した474戸全ての住宅について高齢者対応のバリアフリー仕様となっている。 昭和50年5月に滝川市が開設し、平成29年7月に建替整備が行われた「滝川市養護老人ホーム緑寿園」があり、老人福祉法による措置が必要とされる65歳以上で心身の状況や環境を総合的に勘案し在宅生活が困難な方が入所している。																																				
事業内容 取組実績	(1) 公営住宅の整備 公営住宅については、高齢者世帯が多く居住する老朽化した団地の建替整備を計画的に推進しています。 【事業実績】 ● 公営住宅建替整備状況 平成30年度 緑町団地 2棟 12戸 令和元年度 東町団地 1棟 30戸 ● 高齢者向け住宅等の整備状況 高齢者対応バリアフリー仕様 平成29年度末 418戸→令和元年度末 474戸 高齢者向け住宅 平成29年度末 81戸→令和元年度末 88戸 高齢化対応住宅 平成29年度末 724戸→令和元年度末 782戸 (2) 民間等住宅の整備 市内における民間による高齢者向けの住宅等は、今後の高齢者数の増加を踏まえ、身体機能や認知機能の低下、安否確認などに対応した高齢者世帯向け住宅等の整備を支援しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>事業所名</th><th>定員</th><th>概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)</td><td>グループホームコスモス</td><td>18</td><td rowspan="8">認知症の高齢者が共同で生活できる住居で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を受けることができる。</td></tr> <tr> <td>グループホームカルミア</td><td>18</td></tr> <tr> <td>グループホームともだちの家</td><td>18</td></tr> <tr> <td>グループホーム土筆</td><td>18</td></tr> <tr> <td>ニチケアセンター滝川</td><td>18</td></tr> <tr> <td>グループホームくらす</td><td>9</td></tr> <tr> <td>ニチケアセンターせせらぎ公園</td><td>9</td></tr> <tr> <td>グループホーム土筆の郷</td><td>18</td></tr> <tr> <td rowspan="5">有料老人ホーム</td><td>フルールハピネスたきかわ</td><td>56</td><td rowspan="5">食事、入浴、排せつ、洗濯、掃除等の家事、健康管理のいずれかのサービスを提供している施設で、施設内で介護サービスも受けることができる。</td></tr> <tr> <td>あおぞら</td><td>54</td></tr> <tr> <td>北のユートピア寿泉</td><td>40</td></tr> <tr> <td>あったか館</td><td>19</td></tr> <tr> <td>さくら館</td><td>15</td></tr> </tbody> </table>			種別	事業所名	定員	概要	認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)	グループホームコスモス	18	認知症の高齢者が共同で生活できる住居で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を受けることができる。	グループホームカルミア	18	グループホームともだちの家	18	グループホーム土筆	18	ニチケアセンター滝川	18	グループホームくらす	9	ニチケアセンターせせらぎ公園	9	グループホーム土筆の郷	18	有料老人ホーム	フルールハピネスたきかわ	56	食事、入浴、排せつ、洗濯、掃除等の家事、健康管理のいずれかのサービスを提供している施設で、施設内で介護サービスも受けることができる。	あおぞら	54	北のユートピア寿泉	40	あったか館	19	さくら館	15
種別	事業所名	定員	概要																																		
認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム)	グループホームコスモス	18	認知症の高齢者が共同で生活できる住居で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練を受けることができる。																																		
	グループホームカルミア	18																																			
	グループホームともだちの家	18																																			
	グループホーム土筆	18																																			
	ニチケアセンター滝川	18																																			
	グループホームくらす	9																																			
	ニチケアセンターせせらぎ公園	9																																			
	グループホーム土筆の郷	18																																			
有料老人ホーム	フルールハピネスたきかわ	56	食事、入浴、排せつ、洗濯、掃除等の家事、健康管理のいずれかのサービスを提供している施設で、施設内で介護サービスも受けることができる。																																		
	あおぞら	54																																			
	北のユートピア寿泉	40																																			
	あったか館	19																																			
	さくら館	15																																			

種別	事業所名	定員	概要
サービス付き 高齢者向け住宅	カーサシーザーズ	39	入居者の安否確認や生活相談サービスを提供し、バリアフリーを施した住宅。食事は自炊も可能で、内部の介護サービスも受けることができる。
	カーサシーザーズ2号館	29	
	土筆	37	
	ゆい	81	
	エバーサポート山一	20	
	カーサシーザーズ3-3	52	
養護老人ホーム	滝川市養護老人ホーム 緑寿園	50	60 歳以上、環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難となった方が対象。
軽費老人ホーム	ケアハウスメゾンふるーる	50	60歳以上の自炊ができない程度の身体機能の低下があり、一人暮らしに不安があって家族からの援助を受けることが困難な方が対象。
	滝川市ケアハウス緑寿園	50	
介護老人福祉施設	滝川市特別養護老人ホーム緑寿園	200	常に介護が必要で、家庭での生活が困難な方が入所する施設で、食事や排せつなど日常生活上の介護や身の回りの世話を受けることができる。
介護老人保健施設	滝川市老人保健施設 ナイスケアすずかけ	100	病状が安定し、病院から退院した方などが在宅生活に復帰できるよう、リハビリテーションを中心とする医療ケアと介護を受けることができる。
	介護老人保健施設シーザーズ	70	
その他の 高齢者世帯向け住宅	西町ふれ愛ホーム	9	高齢者向け住宅
	シニアシェアハウス土筆の郷	18	高齢者に配慮したナースコールやバリアフリー対応の住宅。

(3) 養護老人ホーム

市内には昭和 50 年 5 月開設の「緑寿園」があり、低所得者で身寄りがないなど家族の援助を受けられない在宅生活が困難な方が入所している。

○滝川市からの養護老人ホーム緑寿園入所者数（定員 50 人）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延利用者数	513 人	516 人	528 人
月平均利用者数	43 人	43 人	44 人

課題と対応策	(1) 公営住宅の整備 (P60) 公営住宅については、既存住宅を活用しながら、計画的に建て替えを行っている。 (2) 民間等住宅の整備 (P60) 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホームなどの様々なサービスを受けることのできる住宅や、低所得者向けの住宅など、民間による各種高齢者世帯向け住宅等の整備に対する支援を継続するなど、引き続き高齢者の住まいの確保を推進する。 (3) 養護老人ホーム (P62) いまだに緑寿園の入所申請者が多く、入所待機者が発生していることから、緊急性に応じて、市外の養護老人ホームへの入所調整を要する。
---------------	--

事業名	社会参加と交流の推進	結果	○																																
現状と課題 具体的な取組	高齢者人口が増加しているが、老人クラブ会員数は減少傾向にあり、入会者数の減少により、存続が困難な老人クラブが発生している。 老人クラブ連合会事務局の移転を契機に、新たな会員数増に向けた取り組みが必要。																																		
事業内容 取組実績	1 高齢者の生きがいつくり (1) 老人クラブの活性化 老人クラブ活動は昭和 35 年から始まり、現在 18 の単位老人クラブが地域美化活動やボランティア活動、趣味やレクリエーション等の多様な活動に取り組んでおり、滝川市老人クラブ連合会においても、健康推進・交通安全・女性活動・奉仕活動などの取組を全市的に推進し、高齢者の健康づくり・生きがいつくりなどの活動に取り組んでいる。 ○老人クラブの状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>平成 30 年度</th><th>令和元年度</th><th>令和 2 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単位クラブ数</td><td>22 クラブ</td><td>21 クラブ</td><td>18 クラブ</td></tr> <tr> <td>会員数</td><td>747 人</td><td>737 人</td><td>621 人</td></tr> </tbody> </table> (2) 中央老人福祉センターの在り方の検討 昭和 57 年 4 月に開設し、滝川市老人クラブ連合会が指定管理者となり運営管理を行い、高齢者の趣味と憩いの場、健康教育や健康相談等各種催し物の会場として利用されてきたが、利用者数の減少や施設・設備の老朽化等により、令和 2 年 3 月 31 日をもって廃止となった。 ○中央老人福祉センター利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>平成 30 年度</th><th>令和元年度</th><th>令和 2 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用者数</td><td>7,999 人</td><td>6,904 人</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> (3) 敬老事業の実施 敬老事業実行委員会を組織し、88 歳・100 歳を迎える方に祝い状及び祝い品を贈呈し、高齢者に対する長寿の祝福と敬老の意を表するための取組を行った。 ○贈呈対象者の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>平成 30 年度</th><th>令和元年度</th><th>令和 2 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88 歳贈呈者</td><td>247 人</td><td>246 人</td><td>294 人</td></tr> <tr> <td>100 歳贈呈者</td><td>11 人</td><td>14 人</td><td>19 人</td></tr> </tbody> </table> 2 高齢者の生涯学習の充実 滝川市生涯学習振興会により、平成 30 年度から 60 歳以上の方を対象とした「リブrawnいきいきカレッジ」が開催。同世代の会員と交流しながら、自己のスキルアップを図り、健康の維持増進、趣味や教養などの学習活動を通し仲間づくりを積極的に広げ、生きがいのある生活を送ることを目的として実施されている。				平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	単位クラブ数	22 クラブ	21 クラブ	18 クラブ	会員数	747 人	737 人	621 人		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	延利用者数	7,999 人	6,904 人	—		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	88 歳贈呈者	247 人	246 人	294 人	100 歳贈呈者	11 人	14 人	19 人
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度																																
単位クラブ数	22 クラブ	21 クラブ	18 クラブ																																
会員数	747 人	737 人	621 人																																
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度																																
延利用者数	7,999 人	6,904 人	—																																
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度																																
88 歳贈呈者	247 人	246 人	294 人																																
100 歳贈呈者	11 人	14 人	19 人																																

3 高齢者の積極的な社会参加の促進

滝川市シルバー人材センターにより、屋内外の一般軽作業、施設管理、サービス分野における補助作業等を提供し、地域における高齢者の就業の場の確保と就業促進、健康と生きがいを図った。

○滝川市シルバー人材センターの提供業務実施状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
登録会員数	260 人	287 人	—
受注件数	4,222 件	3,485 件	—

課題と対応策**1 高齢者の生きがいつくり（（1）～（3）を一括して評価）（P63～64）**

高齢者の人口増に老人クラブ会員数が比例していない状況であり、各単位老人クラブの高齢化、入会者数減少により解散する老人クラブが発生している。

老人クラブに参加することにより、外出機会が増え、事業などの活動に参加することにより、身体機能の低下や介護予防につながることから、老人クラブだけでなく、町内会などからの協力をいただき、老人クラブへの参加促進のための検討が必要。

2 高齢者の生涯学習の充実（P64）

老後の穏やかな学びを求める方がいる一方で、活動的な比較のお若い方々も増えてきており、要望される学習内容の多様化が生じているところであり、高齢者における生涯学習の根本的な仕組みの再構築が必要となっている。

3 高齢者の積極的な社会参加の促進（P65）

定年延長や再雇用制度などを活用している人が増えてきており、登録会員数の維持が困難になりつつあるが、さらなる PR を行い会員数の登録確保に努める。